

FRONT VIEW



▲赤色LEDにより、胸部及び背部のGNドライブが発光。トランザム時のイメージを強調。



▲GNドライブは着脱が可能。単体でのディスプレイが可能な専用台座と、取り外した際に、本体着脱部に装着する保護カバーが付属。

REAR VIEW



◀内部フレームもグロスインジェクション成形により、重厚感あふれる仕上がり。

▼脇腹及び肩部の可動軸により、腕部の可動範囲が拡大。GNソードによる美しい斬り上げポーズを再現可能。



◀本体のグロスインジェクション成型に加え、ソード刃のメッキ加工や、機体各部のクリアパーツ、クリア樹脂の使用により、トランザムモード時の機体の質感を追求。



ソレスタルビーイング 格闘戦用モビルスーツ
GN-001 ガンダムエクシア(トランザムモード)
グロスインジェクションバージョン
1/100スケール マスターグレードモデル

GUNDAM EXIA [TRANS-AM MODE]
CELESTIAL BEING MOBILE SUIT GN-001

GUNDAM EXIA [TRANS-AM MODE]

CELESTIAL BEING
MOBILE SUIT
MODEL No. GN-001

© 創通・サンライズ・毎日放送



ソレスタルビーイング 格闘戦用モビルスーツ
GN-001 ガンダムエクシア(トランザムモード)
グロスインジェクションバージョン
1/100スケール マスターグレードモデル

BANDAI 2010 MADE IN JAPAN

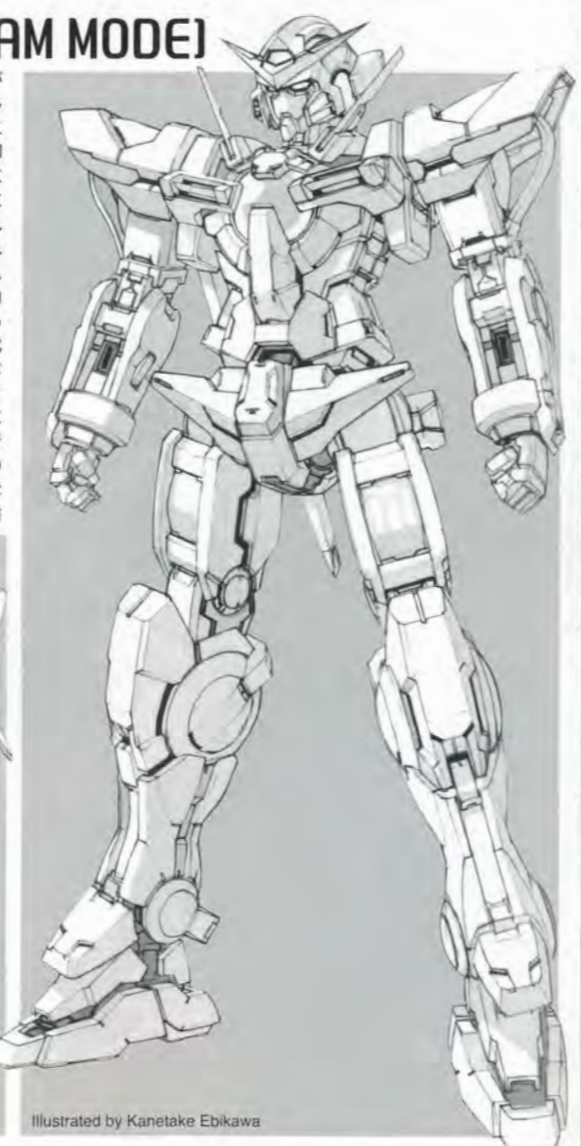
※写真の完成品は、無塗装状態です。



0161570

CELESTIAL BEING MOBILE SUIT GN-001 GUNDAM EXIA (TRANS-AM MODE)

武力を使って紛争の根絶を目指したソレスタルビーイング。そのために必要とされたのが圧倒的な力を持つ機動兵器ガンダムである。ガンダムは少ない機体数で、世界を相手にして勝利しなくては、紛争に対する抑止力となり得ない。ガンダムは、太陽炉という無限にエネルギーを生み出すエンジンユニットを持ち、そこから発生するGN粒子による機体制御とビーム兵器の実用化を成し遂げていたが、その開発は困難を極めた。組織では、理念に共感する優秀な科学者をスカウトすることで百年は進んだ技術を持っていたが、あまりにも要求される技術的ハードルが高かった。そのためガンダムの開発は段階を経て行われることとなった。第一世代ガンダムは機動兵器としての基本性能の開発に重点が置かれた。完成した0(オー)ガンダムは、太陽炉を搭載したモビルスーツとしての基本システムを完成させ、ビームを使用した銃と剣を搭載した。第二世代ガンダムからは、実際の武力介入が必要とされる能力別の機体開発が行われ、計四機の機体が製造された。ここで得られたデータをベースに実際の武力介入に使用される機体として製造されたのが第三世代ガンダムであり、GN-001ガンダムエクシアは、その中の一機であった。エクシアの設計ベースには、第二世代ガンダムのGN-001ガンダムアストレアが使われた。元々汎用機として開発されたアストレアであったが、人間に近い運動性は格闘戦に特化したエクシアにも適していた。本機は、『セブンソード(七本の剣)』の開発コードを持ち、あらゆる条件下での格闘戦を想定していた。武力介入の初期段階において、ユニオン軍、AEU軍、人革軍の三軍ともにガンダムの性能に対抗できるモビルスーツは存在せず、ガンダムは圧倒的なまでの武力を世界に見せつけることになる。中でも、接近戦を多用し、敵を派手に斬り捨てるエクシアの戦闘法は、非常にインパクトがあり、世界に対する『ガンダムという恐怖』を植え付けるのに大きく貢献した。このことは計画準備段階から想定されており、それゆえに組織の戦術予報士スメラギ・李・ノリエガも、ソレスタルビーイングのお披露目となったAEU軍の新型機イナクトの発表会場への介入行為にエクシアを使ったのだ。一方で、ガンダムは少数で多数の敵と戦うことを要求された。無限のエネルギー源を持つガンダムだが、瞬間的に生産出来るエネルギー量には限りがあった。その点で実体剣のGNソードをメイン武装とするエクシアは、消費エネルギー量が低く、長期戦においても優れた機体であった。もっとも多くの戦闘においてエクシアの圧倒的な性能を目の当たりにした敵は、戦意を喪失し、一部のエースパイロットとの戦闘や、三軍合同演習時のような寛でもないかぎり、長期戦になるようなことはまれであった。



Illustrated by Kanetake Ebikawa

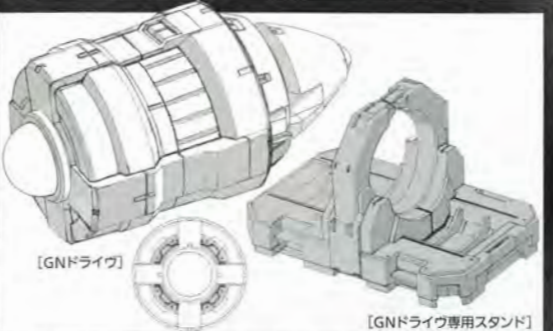
[TRANS-AM MODE]

太陽炉のブラックボックス内に隠されていた機能のひとつ。イオリアの遺体にアレハンドロ・コーナーが銃撃を加えた瞬間、裏切り者の存在をトリガーとするシステムトラップが発動。トレミーチームに対して、イオリアのメッセージと共に「オリジナル太陽炉のトランザムシステムの開放」と、「ツインドライブシステム」が伝えられた。トランザムを発動すると、機体に蓄積した高濃度圧縮粒子が全面開放される。この時、GN粒子を伝達するコードが赤い色に変化し、装甲表面に通常時には見えにくい粒子の経路が赤く浮かび上がる。また、機体の周りに浮遊するGN粒子も高濃度状態のまま装甲表面で制御され、機体全体が赤みを帯びて見える。この機体を取り巻く粒子は、防御力を高めると同時に、推力強化効果も生み出し、トランザム中はスベックの3倍に相当する出力を得ることが出来る。一方で、システムの運用時間が終わると、機体内の粒子を使い尽くし、基本性能が極端に落ちてしまうデメリットも存在する。また連続して使用することも出来ないなど、運用に対しては非常に難しい面を持つ。時代と共に本システムも研究が進み、新生ソレスタルビーイングで新たに作られたガンダムは、システム使用後も極端な機能低下を起こさないように調整されている。また、現在では疑似太陽炉でのトランザムも可能となっている。

GN DRIVE

[GNドライブ]

ガンダムの根幹を成すエンジンユニット。イオリア・シュヘンベルグが基礎理論を考えだし、その意志を受け継いだソレスタルビーイングの科学者たちによって完成した。開発のためには、木星探査隊が必要であり、有人木星探査隊に偽装が行われた。GNドライブは、無尽蔵にGN粒子を生み出し続ける。発生したGN粒子は一種の光子であり、『光を生み出し続ける炉』であることから『太陽炉』とも呼ばれるようになった。ソレスタルビーイングが所有するのは、五基のみだが、これは武力介入に必要な最低限の数である。数を制限した理由は、その製造が難しかっただけでなく、大量生産によって敵にドライブが渡る危険性を防ぐためでもあった。GNドライブ搭載機同士による戦闘は熾烈を極めることが分かっており、紛争根絶を掲げる組織にとって、それは避けねばならない事態だった。最終的に裏切り者アレハンドロ・コーナーによって開発されたGNドライブ[?] (疑似太陽炉) がもたらした、新たな戦局をみれば、この判断が正しかったことが分かる。エクシアのGNドライブは、安全装置を開放することで一時的にブースト状態とすることが可能であったが、通常、使用は推奨されず、ほとんど使われることはなかった(本システムは、リペアIIで使用されている)。



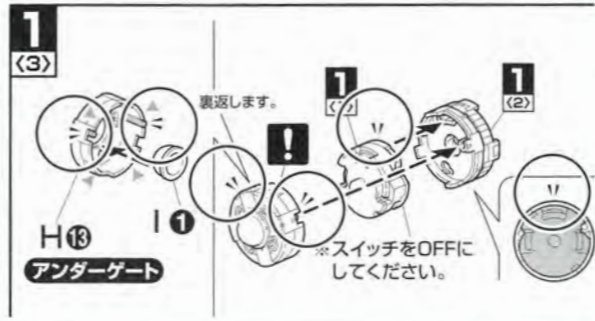
[GNドライブ]

[GNドライブ専用スタンド]

組み立て前の基本説明

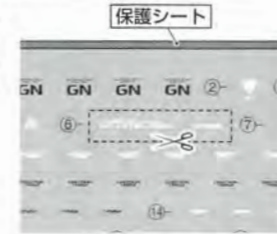
部品の向きに注意してください

※組み立て図中にVのついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



ガンダムデカールの貼りかた

①ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。

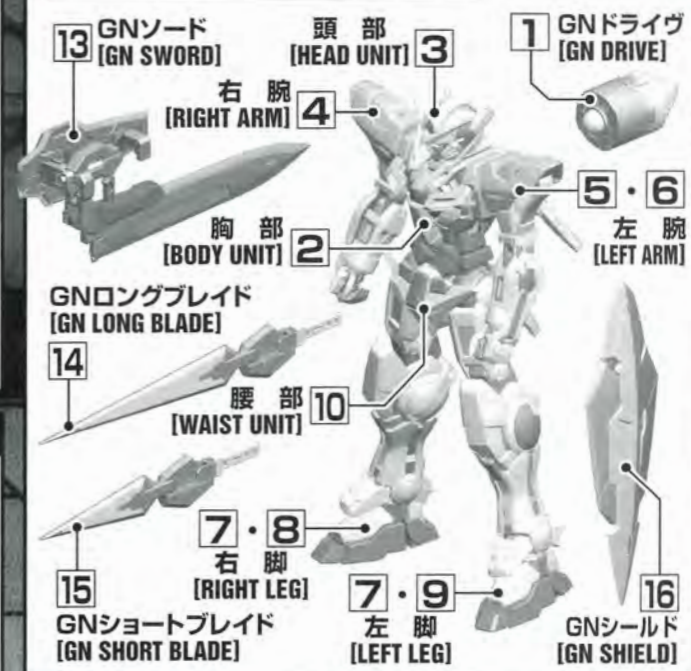


②保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。

③シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。

※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

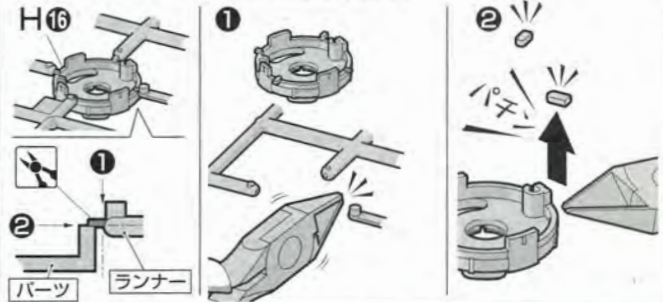
説明書をよく読んで完成させましょう



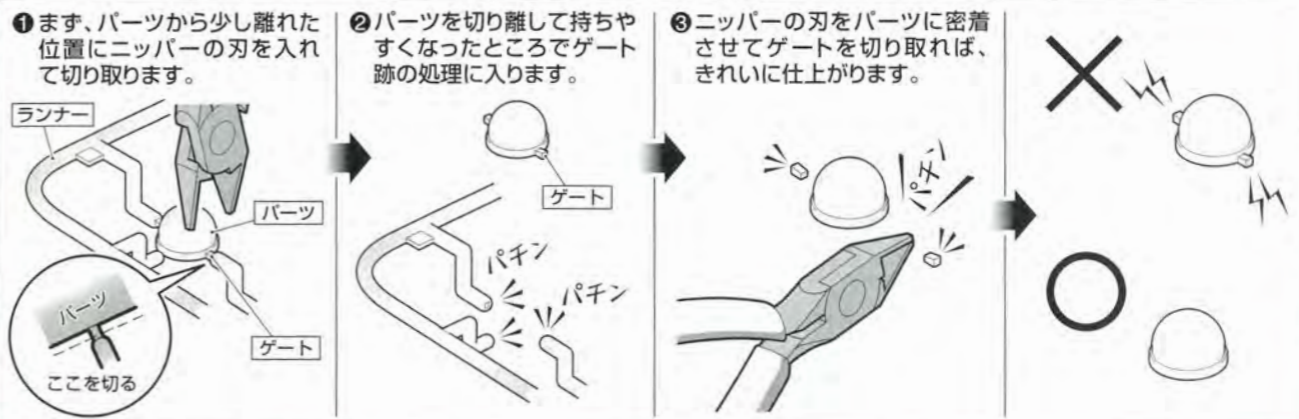
アンダーゲートの切り取りかた

アンダーゲート マークの付いた部品は、下の図のようにキレイに切り取ります。

※Hパーツの一部は下の図のように切り取ります。



パーツの切り取りかた



※組立図中の記号説明

注意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れてください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。《電池を誤使用すると発熱・破裂・液漏れの恐れがあります。下記に注意してください。》
- 万一、電池から漏れた液が目に入った時は、すぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。ひふや眼に付いた時は水で洗ってください。
- +（プラスマイナス）を正しくセットしてください。
- 遊んだ後は必ずスイッチを切り、電池をはずしてください。
- ショートさせたり、充電、分解、加熱、火の中に入れてたりしないでください。
- 先端は形状再現上とがっており危険です。取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

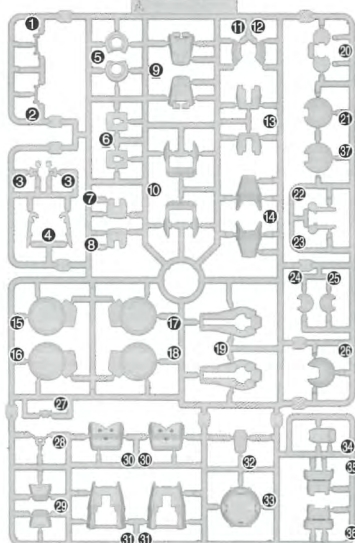
※このキットの組み立てには+（プラス）ドライバーをしますので別にご用意ください。

＜組み立てる時の注意＞

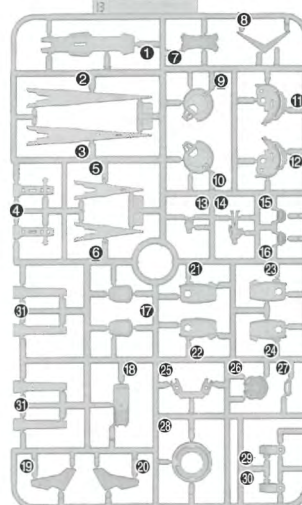
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
 - 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
 - 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
 - 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
 - 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
 - 組み立てのキツイ部分は、メッキ部分をはがして組み立ててください。
- ※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

パーツリスト (×印は使用しないパーツです。)

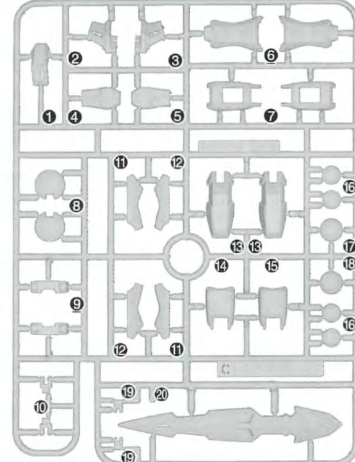
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



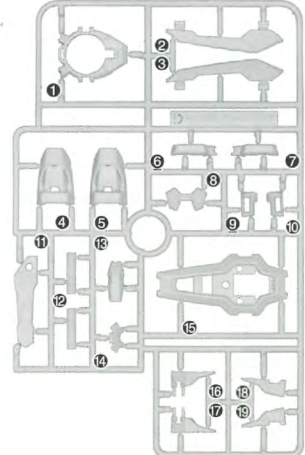
Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



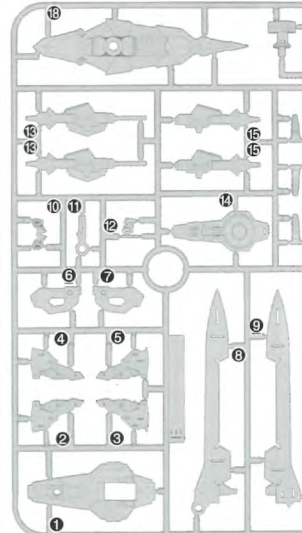
Cパーツ (スチロール樹脂: PS)



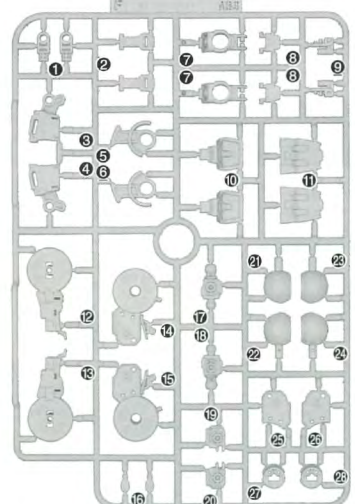
Dパーツ (スチロール樹脂: PS)



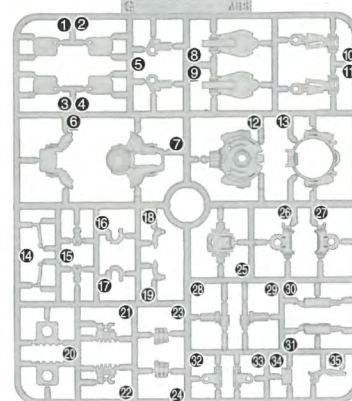
Eパーツ (スチロール樹脂: PS)



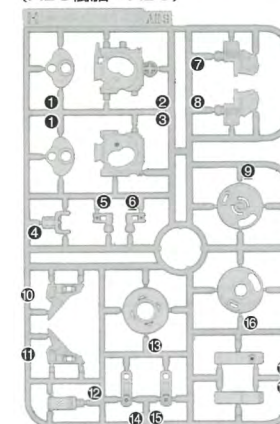
Fパーツ (ABS樹脂: ABS)



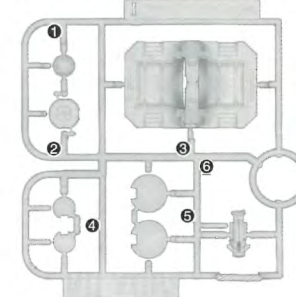
Gパーツ (ABS樹脂: ABS)



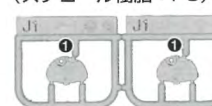
Hパーツ (アンダーゲート有り) (ABS樹脂: ABS)



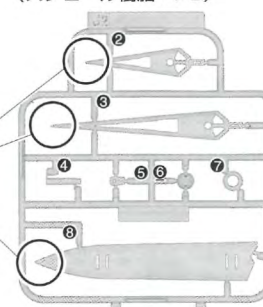
Iパーツ (スチロール樹脂: PS)



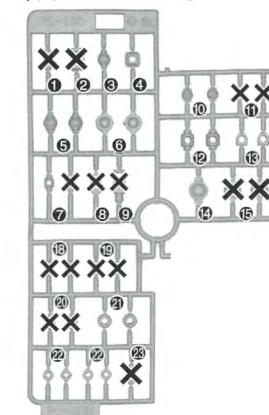
J1パーツ (スチロール樹脂: PS)



J2パーツ (スチロール樹脂: PS)



PC-130B (ポリエチレン: PE)

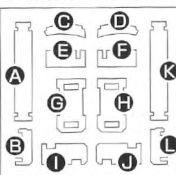


SB-8パーツ (スチロール樹脂: PS)



△形状再現上とがっており危険です。注意して組み立ててください。

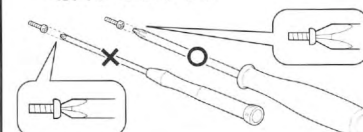
ホログラムパーツ (エチレン-酢酸ビニル樹脂: EVAC)



※ホログラムパーツは文字が読める方が表になります。

- カラーシール.....1枚
- マーキングシール.....1枚
- ガンダムデカール.....1枚
- ビス.....2本
- LEDライトユニット.....2個 (スチロール樹脂: PS)

※ビスに合ったドライバーをご使用ください。サイズの合わないドライバーを使用されるとビスを破損する場合があります。

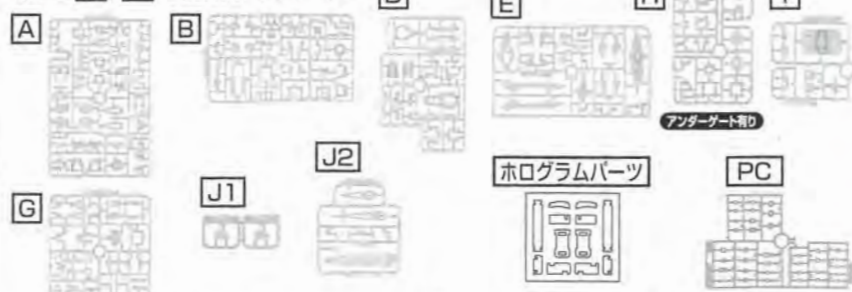


1 2 GN DRIVE / BODY UNIT



<GN DRIVE> <BODY UNIT>

・組立 1・2 で使用するパーツ



・カラーシール ・ビス (×2) ・LEDライトユニット (×2)

1 2 [GNドライブの組立] GN DRIVE UNIT

LEDライトユニット

ボタン電池 (LR41) (別売り)

※LEDライトユニットを点灯させる場合は、ボタン電池 (LR41) (4個) 別売りをご使用ください。

※点灯させない時は、電池をはずします。

点灯テスト

OFF ON

点灯しない場合

1. 電池の+ (プラスマイナス) は合っていますか。
2. 電池は古くありませんか。
3. 電池ブタはしっかりと閉まっていますか。
4. ビスはしっかりと締まっていますか。

アンダーゲート

H9

H16 アンダーゲート

※スイッチをOFFにしてください。

H13 アンダーゲート

※きれいに切り取ります。

I2

J27

B28

J26

B26

※きれいに切り取ります。

※スイッチをOFFにしてください。

※スイッチON

※奥までしっかりと、はめ込みます。

※奥までしっかりと、はめ込みます。

2 [胸部の組立] BODY UNIT

※ホログラムパーツは、ゆっくりときれいに切り取ってください。ツヤのある面が裏側になります。組立てる時に表裏のはめ込みに気をつけてください。

短い方

※奥までしっかりと、はめ込みます。

※奥までしっかりと、はめ込みます。

※ツヤのある面

ホログラムパーツ E

ホログラムパーツ F

※GNドライブを点灯させる場合は、こちらを貼ります。

※ホログラムパーツをはさまないよう、位置に注意してください。

※ホログラムパーツをはさまないよう、位置に注意してください。

※ホログラムパーツをはさまないよう、位置に注意してください。

※ホログラムパーツをはさまないよう、位置に注意してください。

※スキマが空きます。

※スキマが空きます。

※スキマが空きます。

※スキマが空きます。

※スキマが空きます。

※スキマが空きます。

※スキマが空きます。

※スキマが空きます。

※スキマが空きます。

3 HEAD UNIT



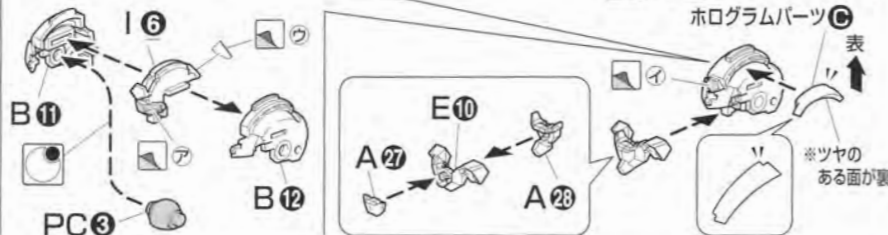
・組立3で使用するパーツ



3 (1) HEAD UNIT

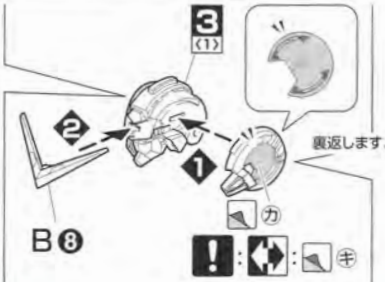
※ホログラムパーツは、ゆっくりときれいに切り取ってください。ツヤのある面が裏側になります。組立てる時に表裏のはめ込みに気をつけてください。

※シールは先に貼ります。



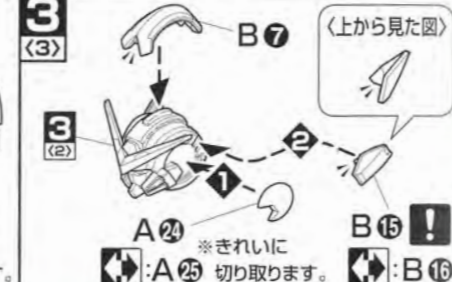
3 (2)

※きれいに切り取ります。



3 (3)

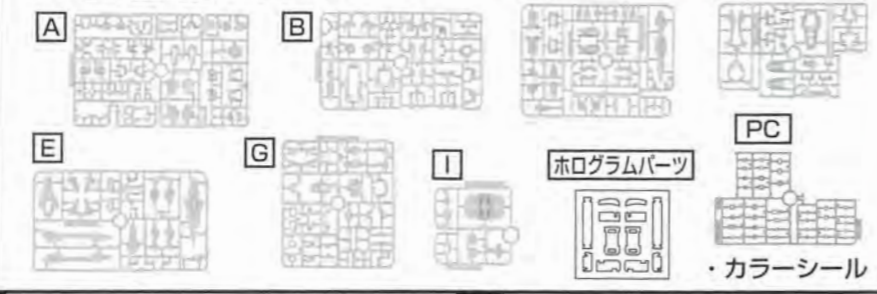
※きれいに切り取ります。



4 5 6 ARM UNIT



・組立4・5・6で使用するパーツ



4 (1) RIGHT ARM

《裏から見た図》

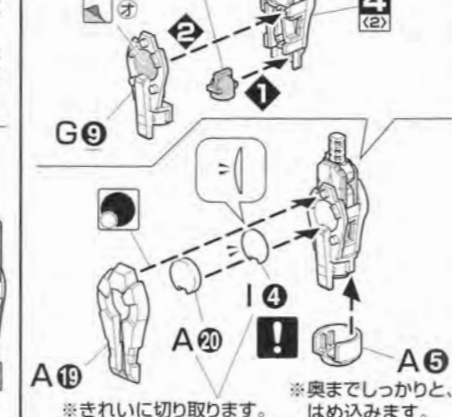


4 (2)

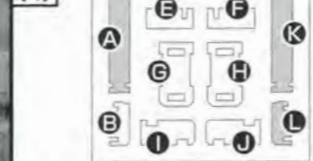


4 (3)

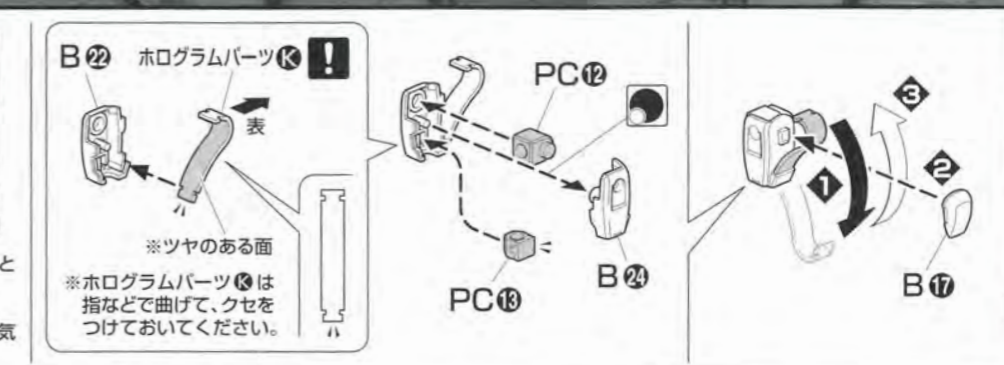
※奥までしっかりと、はめ込みます。



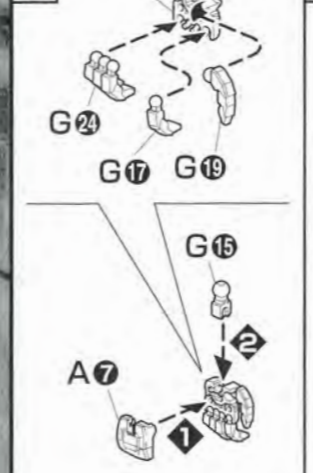
4



※ホログラムパーツは、ゆっくりときれいに切り取ってください。ツヤのある面が裏側になります。組立てる時に表裏のはめ込みに気をつけてください。



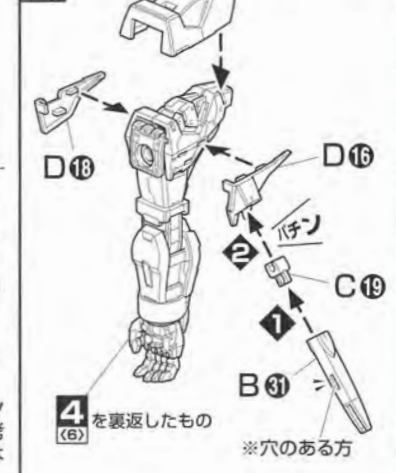
4



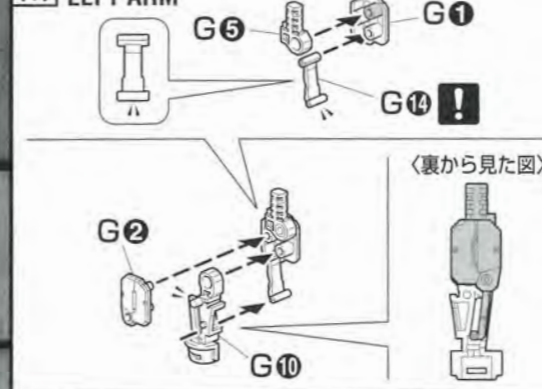
4



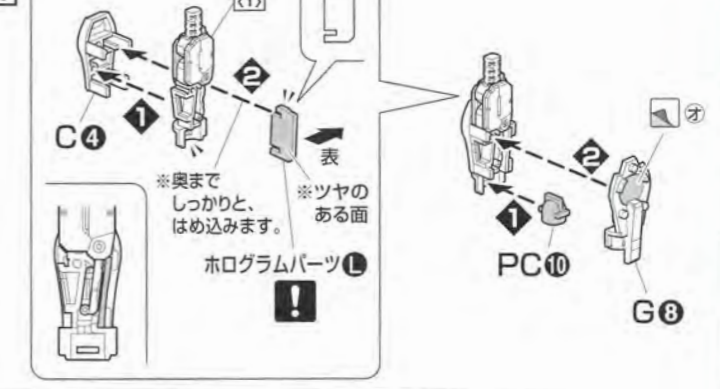
4



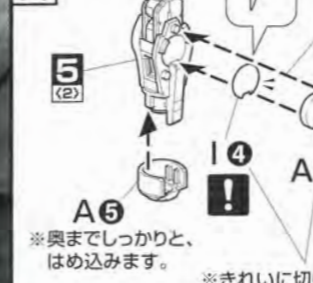
5 (1) LEFT ARM



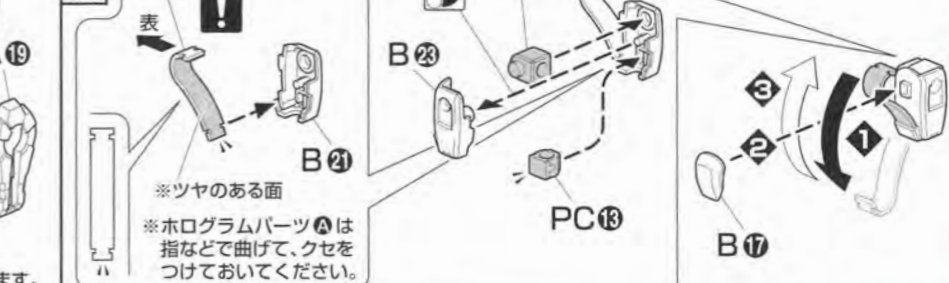
5 (2)



5



5



FIGHT'S ON

DOCUMENTARY PHOTOGRAPH



TRANS-AM ～トランザム～ アリー・アル・サーシェスは、セカンドチームのスローネツヴァイを奪取し、自らの機体とした。そこに宇宙から降下してきた刹那のエクシアが現れる。両者は戦いとなるが、刹那はサーシェスの前に劣勢に立たされる。その時であった、突然イオリアからのメッセージが流れたのは……『GNドライブの全能力をキミたちに託したいと思う。キミたちが戦争根絶のために戦い続けることを祈る。計画のためではなく、キミたちの意志で……ガンダムと』同時に、機体に隠されていたトランザム・システムが発動。エクシアが真紅に輝く。攻撃を加えようとしたスローネツヴァイだったが、エクシアの高速移動を捉えることが出来ない。エクシアはビーム攻撃を超音速移動でかわし、ビームサーベルで一気にもスローネツヴァイの腕を斬り落とす!『ありゃなんだ?』サーシェスは不利を悟るとすぐに撤退してしまう。その場に残されたエクシアと刹那。「トランザム・システム……」刹那はエクシアのコックピットの中で、モニターに表示されたデータに自ら驚愕するのだった。



MECHANISM and WEAPONS GUIDE

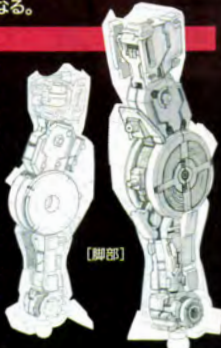
格闘戦に特化した機体であるエクシアは、元々汎用機であったアストレアをベースとしている。これは、エクシアが武装面においては『格闘戦』に特化しているものの、機体の基本性能では、汎用的であることを示している。その証拠に他のガンダムではオミットされた『人間と同等の可動範囲』を実現するための機体構成が、エクシアには残されている。なお、他のガンダムでは、可変機能を持つキュリオスをはじめ、遠距離戦を主体とするデュナメスやヴァーチェなどは、逆を言えば、格闘戦を主体とするエクシアには人間と同じ可動範囲が求められたのである。エクシアの基本フレームは、初期の武力介入に使用された四機のガンダムの中で、もっとも複雑な構造を持ち、同時に広い可動領域を実現していた。これは格闘戦においてエクシアに優位性をもたらすものであったが、可動にもなる装甲の細分化に加え、動きによっては装甲されていない関節部が露出するなど、運用上のデメリットも存在していた。これをカバーするため、エクシアには専用のGNシールドが装備されていた。運用中に可動範囲を狭めないため、通常時はコンパクトなサイズでありながら、必要に応じて防御面を広く展開することが可能であった。同様にエクシアにとって最も大きな武装であるGNソードも、その刃の部分折りたたむことが出来た。エクシアの外見で目を引くのが、機体各部に走るコードだ。特に肩から腕に伸びる物は、他の機体には見られない形状である。このコードはGN粒子を大量に、そして瞬時に機体各部に送るためのシステムであり、ガンダム全機に採用されている。これらは機体各部へのエネルギー供給を行うだけでなく、GN粒子による質量軽減効果を使った姿勢制御に活かされている。エクシアでは、敵と近接した状態での戦闘が多用されるため、機体外部に多くのコードを展開し、他のガンダムよりもミニマムな姿勢制御を実現している。ただし、これは防御面では危険なシステムであり、後にエクシアリアヘアIIへと改良された際には、装甲内にコードの多くが格納されることとなる。

HEAD UNIT

人間によく似たガンダムの頭部は、人間と同じく機体全般の制御に不可欠な機能が集約されている。頭部アンテナは、レーダー索敵機能と通信機能を含ませ持つ。また、ウェーブとのリンク(量子通信)を行うためのブラックボックスも搭載されている。エクシアを代表とする第三世代ガンダムの頭部アンテナには、粒子制御能力は試験的に導入されているものの、そのほとんどは別に設置されたクラビカルアンテナに頼っている。余談となるが、エクシアの頭部デザインは、初期ソレスタルビーイングで採用されていたガンダムマイスターのパイロットスーツのヘルメットに似せて作られている。これはマイスター＝ガンダムという信念を表現したものと思われる。

LEG UNIT

ガンダムにはGN粒子による機体の質量軽減効果がある。これは、ただ機体を軽くするだけではなく、任意に機体各部の質量比率を変化させることで、空中での慣性をともなう旋回性能や、宇宙空間でのAMBAC(アンバック＝能動的質量移動による自動姿勢制御)を自在に制御することが可能となる。これにより脚部は『移動のために歩く』必要はない。一方で、格闘戦用機として人間に近いアクションを要求されるエクシアでは、人間と同等の関節可動を実現している。結果として、可動範囲確保のため装甲が他のガンダムより細かく分割されており、ポーズによっては一部の内部構造が露出することもある。防御力は低下するが、それを補う機動性を獲得することで、被弾率は四機のガンダムの中で最も低い。



SETSUNA ～刹那～ 疑似太陽炉搭載機を配備した国連軍との戦いは壮絶を極めた。ロックオンは、国連軍の中に家族の敵であるアリー・アル・サーシェスを見付け出し、戦いの末、相打ちとなって……。地上から宇宙での戦場に駆けつけた刹那は、その死を目の当たりにし、強いショックを受けてしまう。「……刹那、お前は変われ……変わらなかった、俺の代わりに……」。ロックオンの意志を受け継いだ刹那は、国連軍の中にある組織の裏切り者アレハンドロ・コーナーの巨大モビルアーマーと対峙する。「貴様か、イオリアの計画を歪めたのは!」刹那の叫びに対し、自ら計画の主役となり世界を支配すると宣言するアレハンドロ。世界の歪みの中心を確認した刹那。「お前がその凶凶だ!」なんとかモビルアーマーを破壊したエクシアだったが、その中からモビルスーツが出現、圧倒的な攻撃力の前に苦戦。敵の高濃度圧縮粒子ビームの光がエクシアを飲み込む。しかし、そこにエクシアの姿はない。トランザムを発動させた真紅のエクシアが高速で飛来、反撃が開始される!「この歪みを破壊する!」

●写真はイメージです。

GN SWORD

エクシアのメイン武装。右腕に装着される。セブンスードの中で最も巨大であり、刃はエクシアの腕よりも長い。使用時には刃の表面がGN粒子によってコーティングされ、より高い切断能力を得ることが出来る。この機能はオフにして使うことも可能であり、種数、まったく粒子消費することなく使用可能な格闘武器となっている。ただし、その巨大さゆえに狭いバトルフィールドでは使用出来ない。また、ライフルモードへ変形させることでビームライフルへと変容する。これは格闘戦に特化したエクシアにとって出来るだけ装備数を減らし、機体の自由度を高めるために採用されたシステムである。



GN LONG BLADE / GN SHORT BLADE

GNロングブレイドを左腕、GNショートブレイドを右腕に装着する。刃をGN粒子で包み込むことにより、驚異的な切断能力を発揮する。エクシアの七本の剣の中で、最も開発に時間がかかった装備であり、ソレスタルビーイングの武力介入開始に間に合わなかった。実は本装備には隠された『用途』があり、そのためのステータスをクリアするために長い調整時間を必要とした。その『用途』とは、『太陽炉搭載機との格闘戦』であり、それが意味するものは、『裏切り者の機体との格闘戦』であった。本装備は、GNフィールドを貫き、切り裂く能力を持ち、実際に裏切り者であるアレハンドロ・コーナーの駆るアルヴァートレ(アルヴァロン)のGNフィールドを切り裂くことになる。



GN SHIELD

高い強度を持つEカーボン素材の盾。表面にGNフィールドを展開し高い防御能力を実現している。エクシアからのパワー供給を受けている限り、通常兵器でこのシールドを破ることは難しい。エクシアを初めとするガンダムは、同様の性能を持った装甲で包まれており、一見すると盾は必要に思える。しかしながら、自由に可動可能な腕に装着された盾は、腕自体が可動することで、攻撃のショックを吸収する役割を持つ。またエクシアの盾は、左右のパーツが可動し、広範囲を防御することも可能となっている。広げた形態は物理的な防御力が低下するため、GNフィールド効果を高めて使用する仕様となっており、消費粒子量が増大する。

GN BEAM SABER/DAGGER

抜きはなつと、GN粒子による刃が現れる格闘兵器。実剣ではなく純粋なビームによる剣である。高い威力を持つ上、収納時には刃の部分が無くなるためミッション中に邪魔にならない。一方で、大気の状態やビーム拡散率により威力が減退する弱点もある。また、実剣と違い、敵を引っ掛けたり、剣で押すなど物理的な使用が不可能である。腕に装着されているのがビームサーベルであり、その名が示すとおり剣として使用される。腕に装着されるのがビームダガーで、サーベルより刃が短いが、離れた敵に投げつけて使用するのに適している。両者は本来は同一の装備だが、機能調整によって特性を変えられている。マイスターがコックピット内から再調整することで、両者の機能を入れ替えることも出来る。

GN CONDENSER

ガンダムに搭載された太陽炉は、無尽蔵にエネルギーを生産することが出来る。しかしながら、一定時間に生産出来るエネルギー量には上限があるため、戦闘中の連続したビーム兵器の使用など、一度に大量のエネルギーを消費する場合、パワー切れを起こす可能性がある。これを回避するため、ガンダムの各部には太陽炉から生産されたGN粒子を溜めておく、GNコンデンサーが搭載されている。ガンダムが非活動中でも太陽炉は粒子生産を続け、余剰粒子がコンデンサー内に溜められる。コンデンサーには、粒子量とその圧縮率をデータ表示する機能があるが、これは整備上必要とされるものである。ミッション中には、この表示機能を友軍機に対する信号通信にも転用している。コンデンサー技術を採用し、大型化コンデンサーを太陽炉の代わりに搭載し、予め蓄えた粒子で起動させる機体も製造されている。

ONE POINT STEP

スミ入れしてみよう!!

ガンダムマーカー/スミ入れ用(別売り)などを使用して、ミノの所に線を引きこすることで、模型が引き締まります。



金属表現をしてみよう!

メタリック系のガンダムマーカー(別売り)を装甲内部に使用することで、よりメカニカルな仕上がりに。



5 (5)

5 (6)

5 (3)

6 (上半身の完成) UPPER BODY

3 で作った頭部

2 で作った胸部

4 で作った右腕

※肩アーマーと腕の穴を合わせて奥までしっかりと、はめ込みます。

裏返します。

※穴のある方

5 を裏返したものを

5 (3)

5 (6)

789 LEG UNIT

・組立**7・8・9**で使用するパーツ

A **C** **F** **I** **PC**

ホログラムパーツ

・カラーシール

7 (脚部の組立) LEG UNIT

7 (1)

7 (2)

7 (3)

7 (3)

8 (右脚の組立) RIGHT LEG

8 (1)

8 (2)

8 (3)

8 (4)

8 (5)

※ホログラムパーツは、ゆっくりときれいに切り取ってください。ツヤのある面が裏側になります。組立てる時に表裏のはめ込みに気をつけてください。

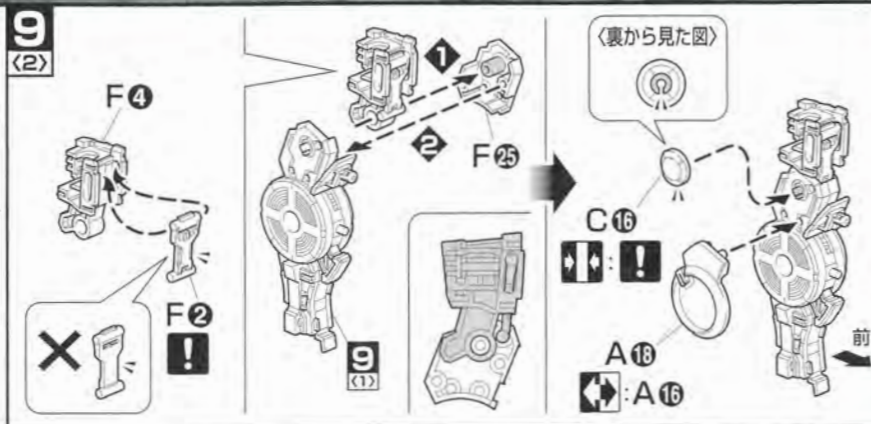
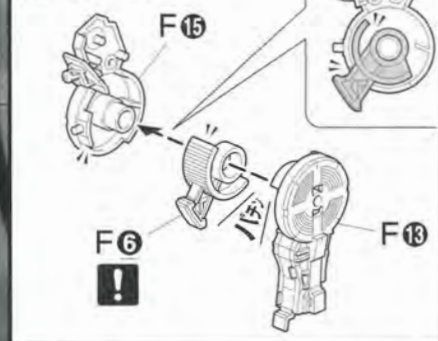
8 (6)

8 (8)

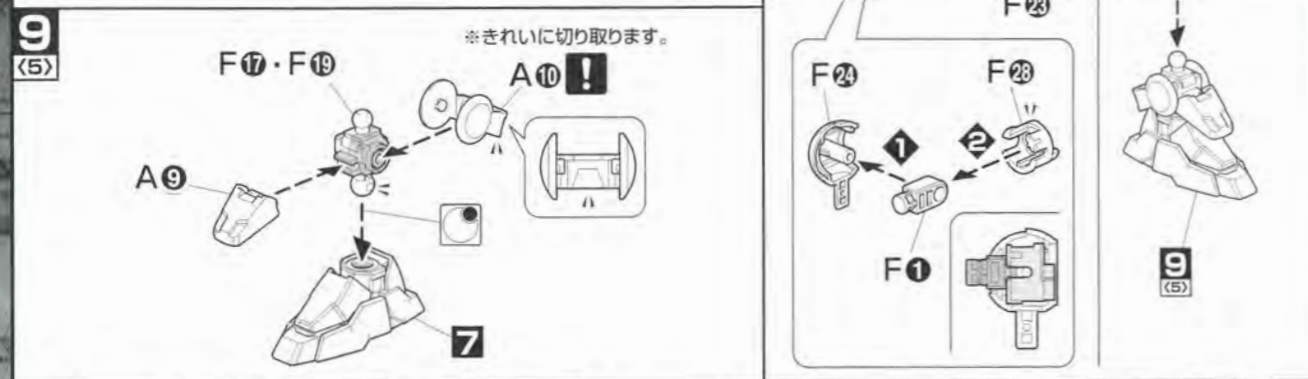
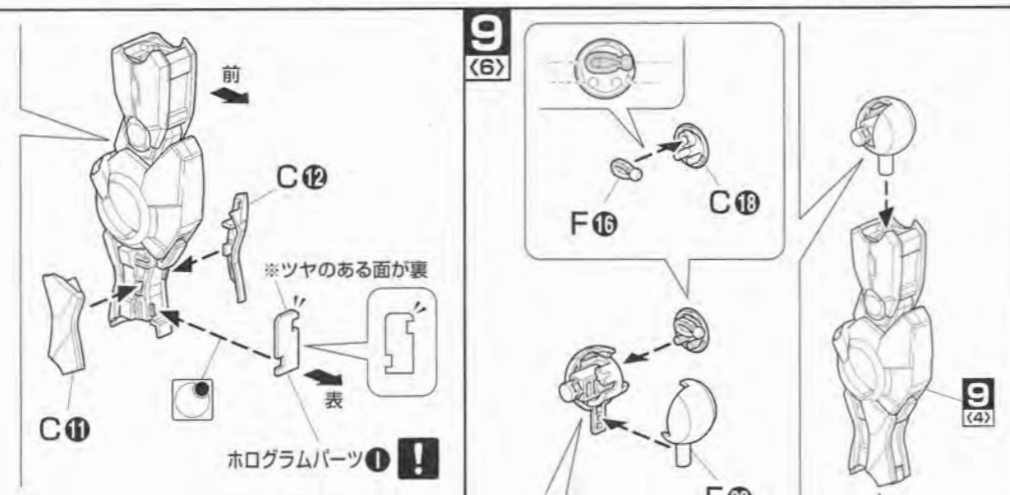
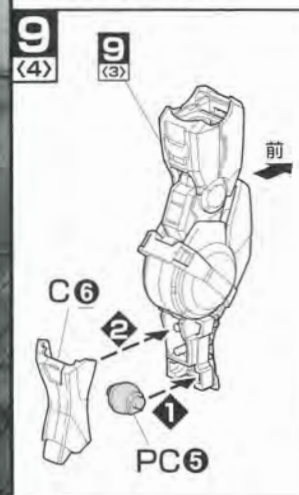
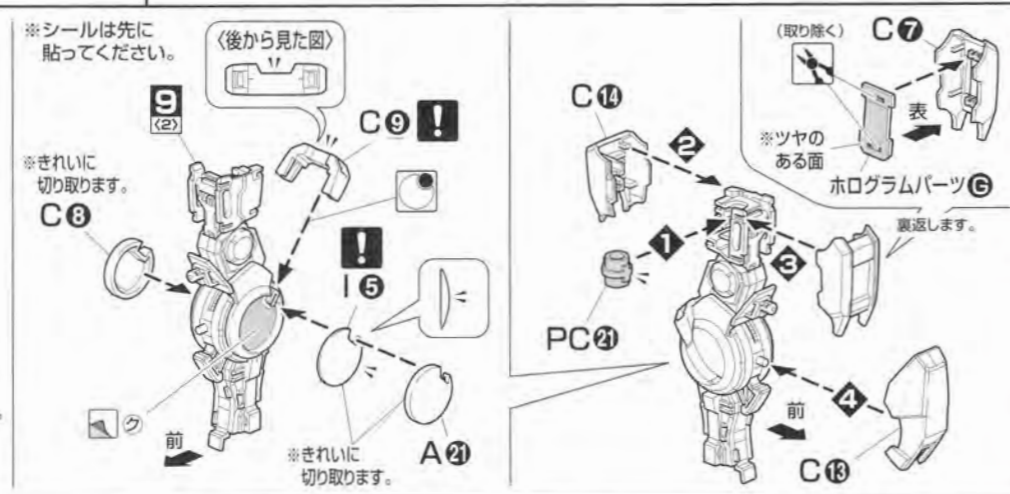
8 (7)

8 (7)

9 (左脚の組立)
(1) LEFT LEG

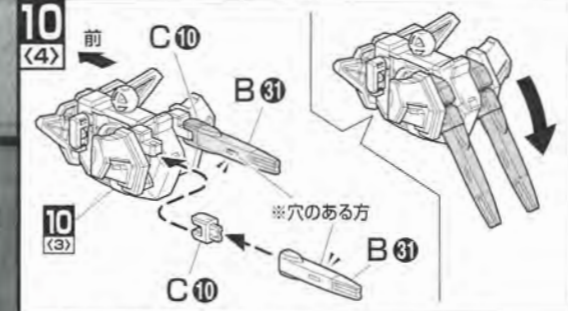
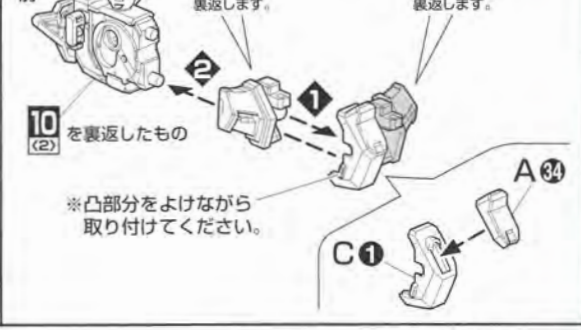
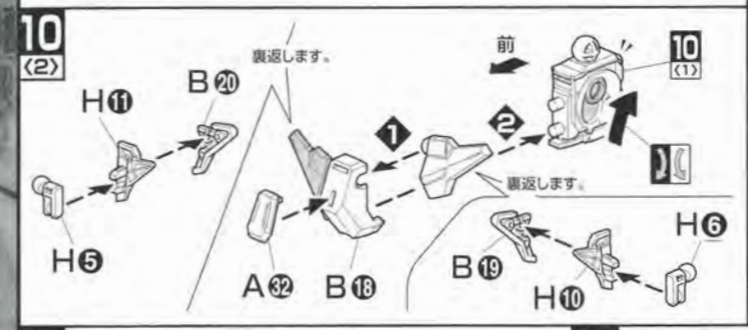
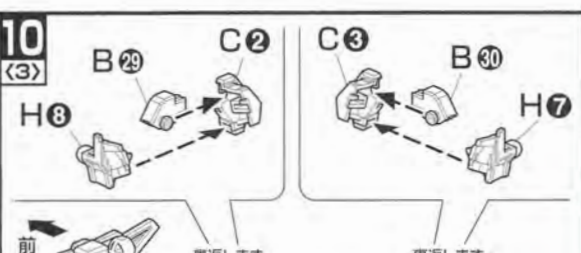
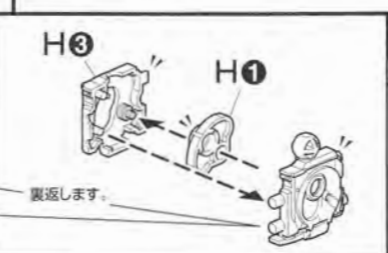
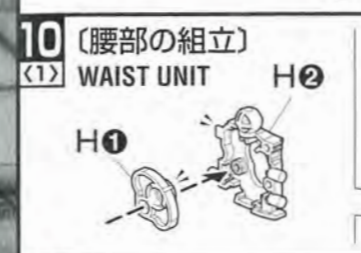
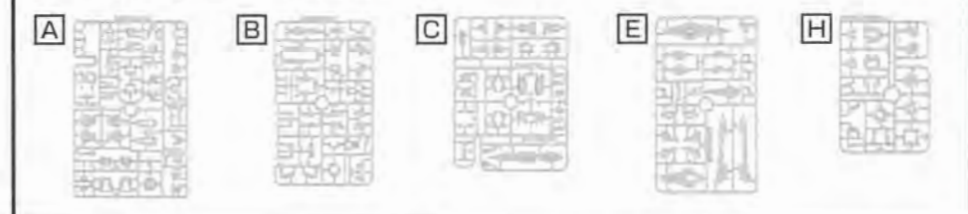


※ホログラムパーツは、ゆっくりときれいに切り取ってください。ツヤのある面が裏側になります。組立てる時に表裏のはめ込みに気をつけてください。

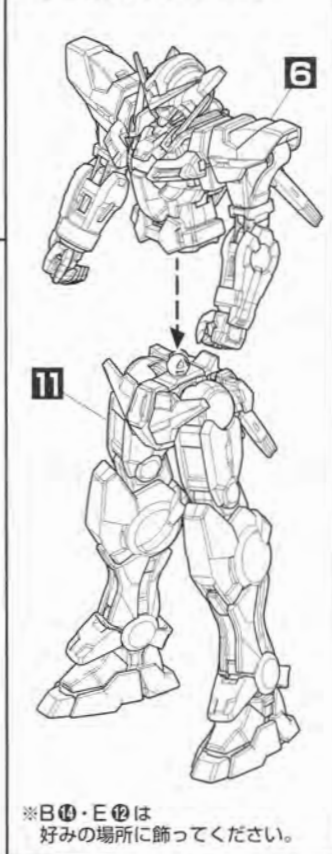


10 11 12 WAIST UNIT

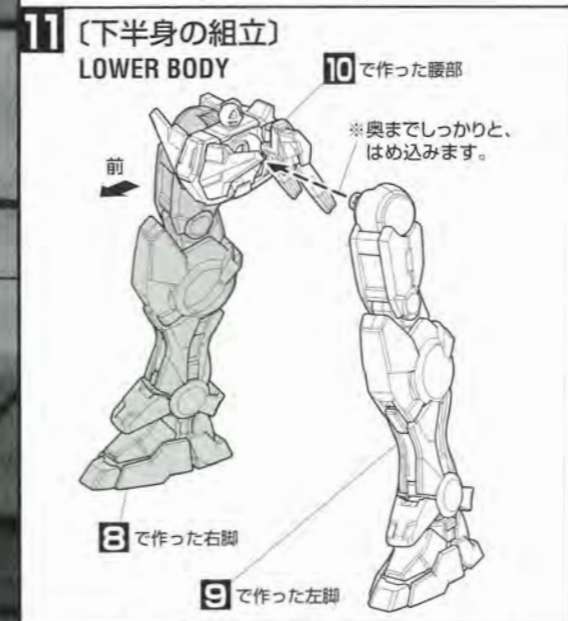
・組立10・11・12で使用するパーツ



12 (完成)
(1) FINAL ASSEMBLY



〈GNドライブの搭載〉



12 <コクピットハッチの開け方>

(2)



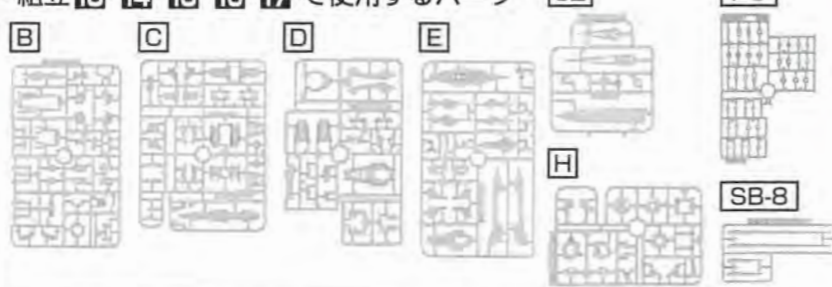
<クラビカルアンテナの収納>



13 14 15 16 17 WEAPONS

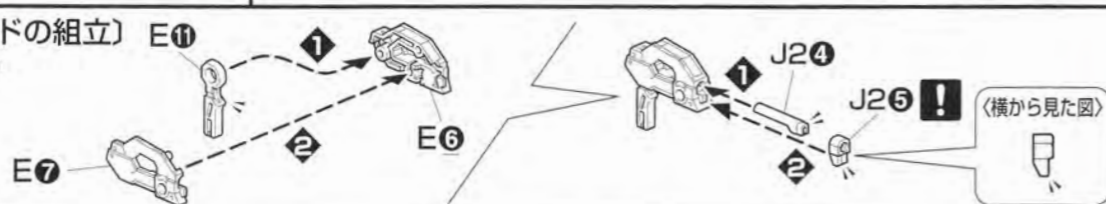


・組立 13・14・15・16・17 で使用するパーツ



13 (1) <GNソードの組立>

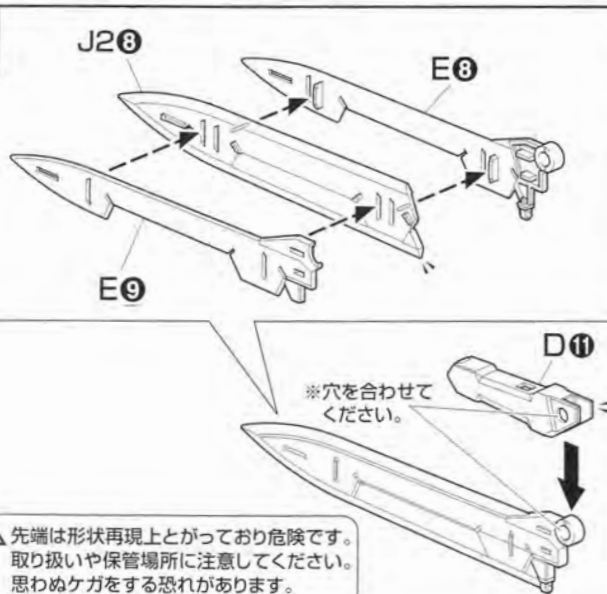
GN SWORD



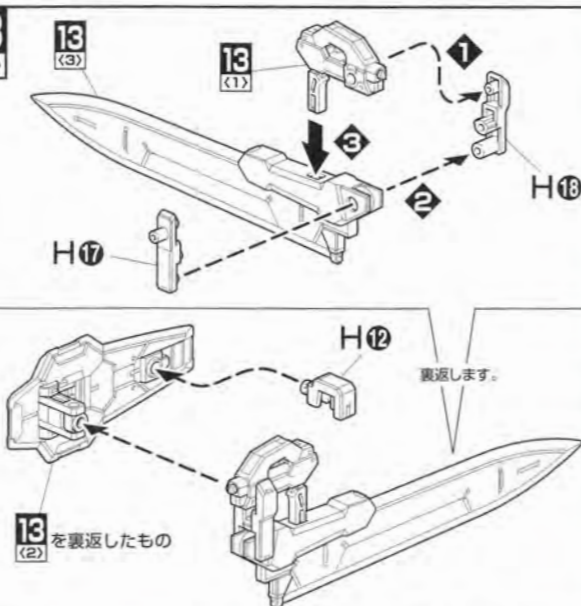
13 (2)



13 (3)

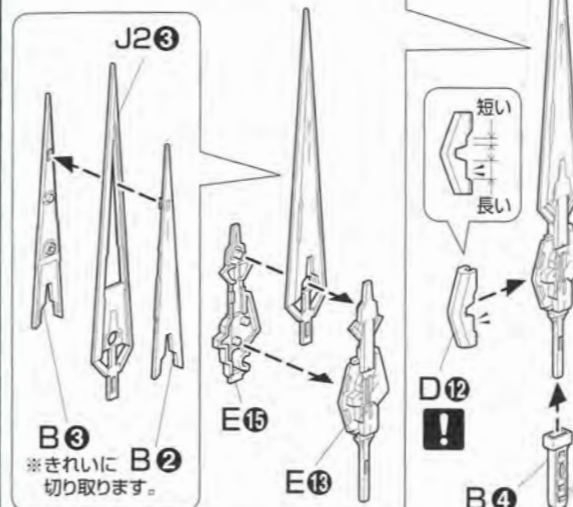


13 (4)



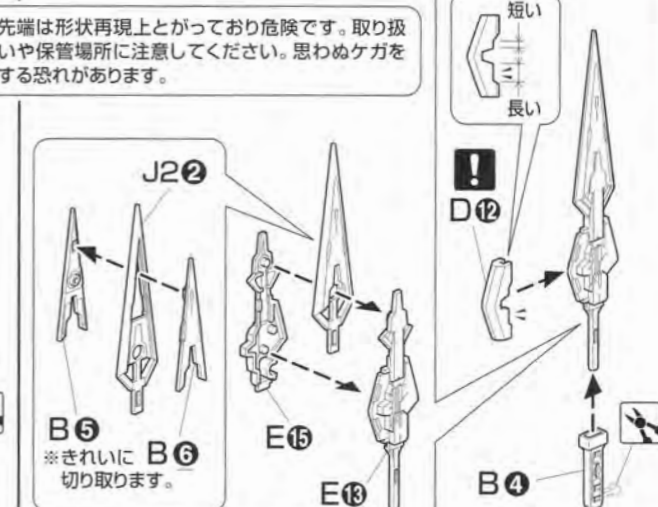
14 <GNロングブレイドの組立>

GN LONG BLADE



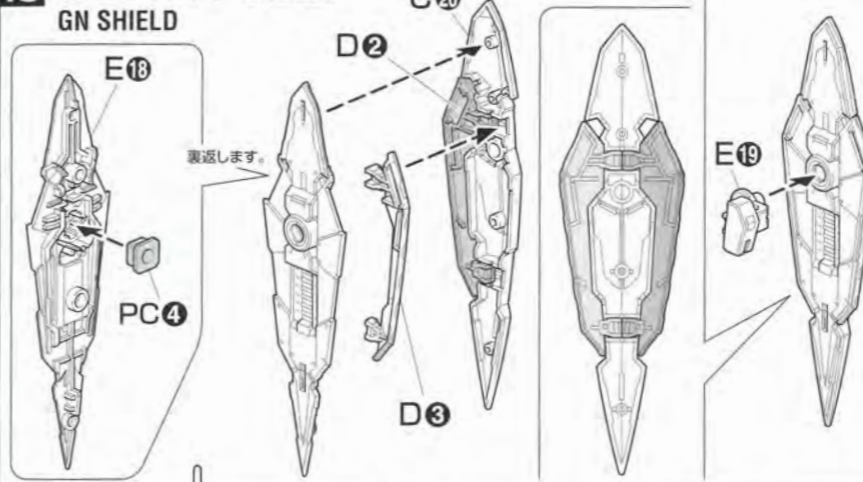
15 <GNショートブレイドの組立>

GN SHORT BLADE



16 <GNシールドの組立>

GN SHIELD

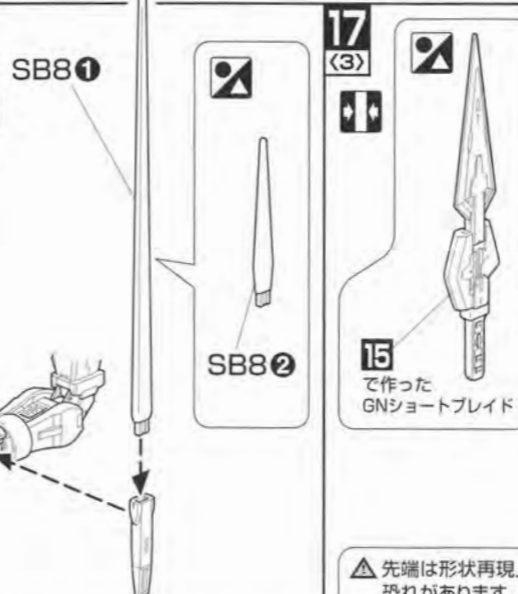


17 <武器の装備>

WEAPONS EQUIPMENT



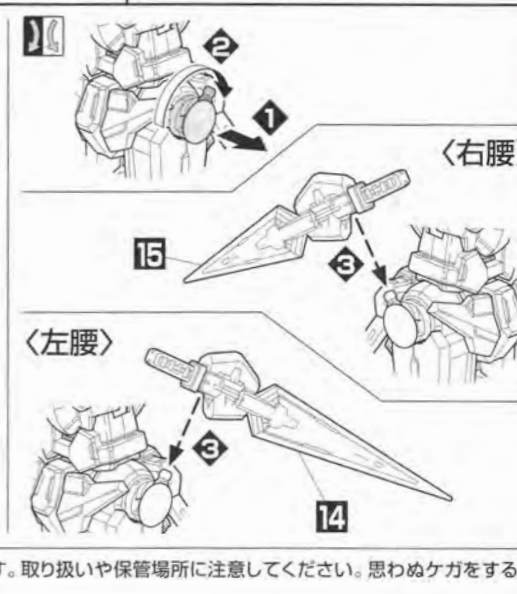
17 (2)



17 (3)



14



△先端は形状再現上とがっており危険です。取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

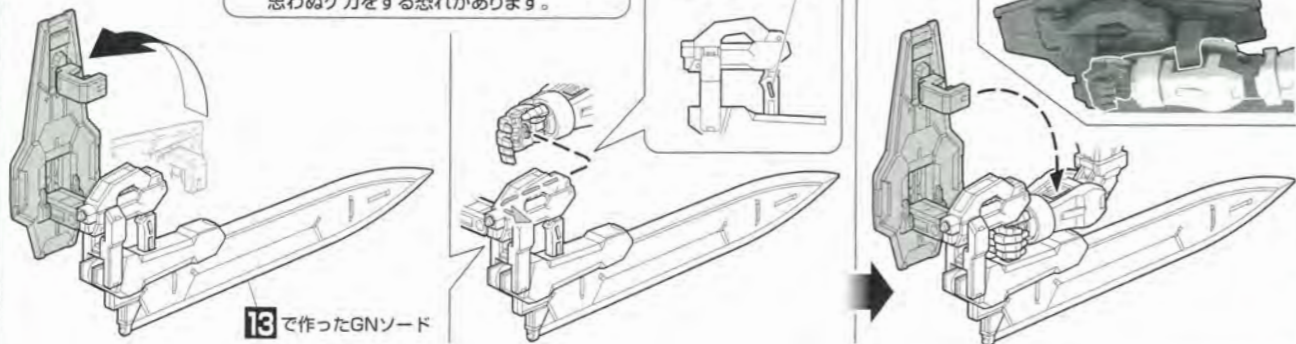
△先端は形状再現上とがっており危険です。取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

17
(4)

△先端は形状再現上とがっており危険です。取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

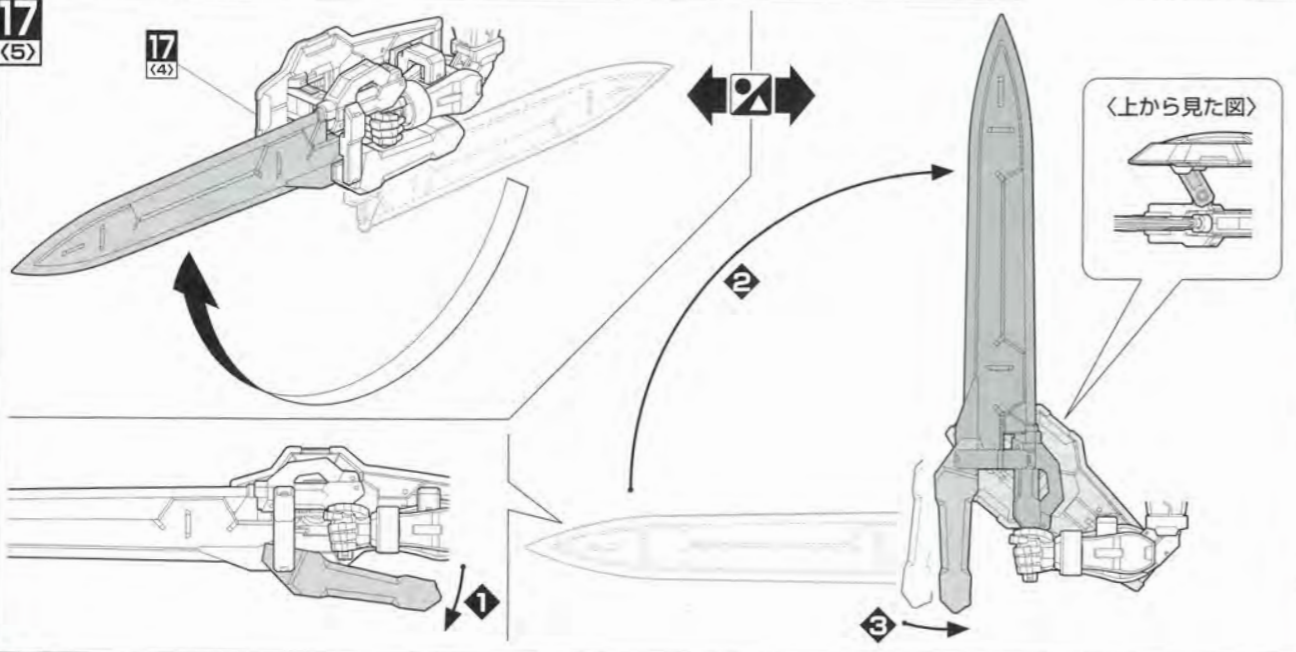
※手首の凸部に差し込んでください。

※写真のように手に持たせずに格納することもできます。



17
(5)

17
(4)



17
(6)



MARKING SEAL & DECAL

Seal 下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。
(シール)

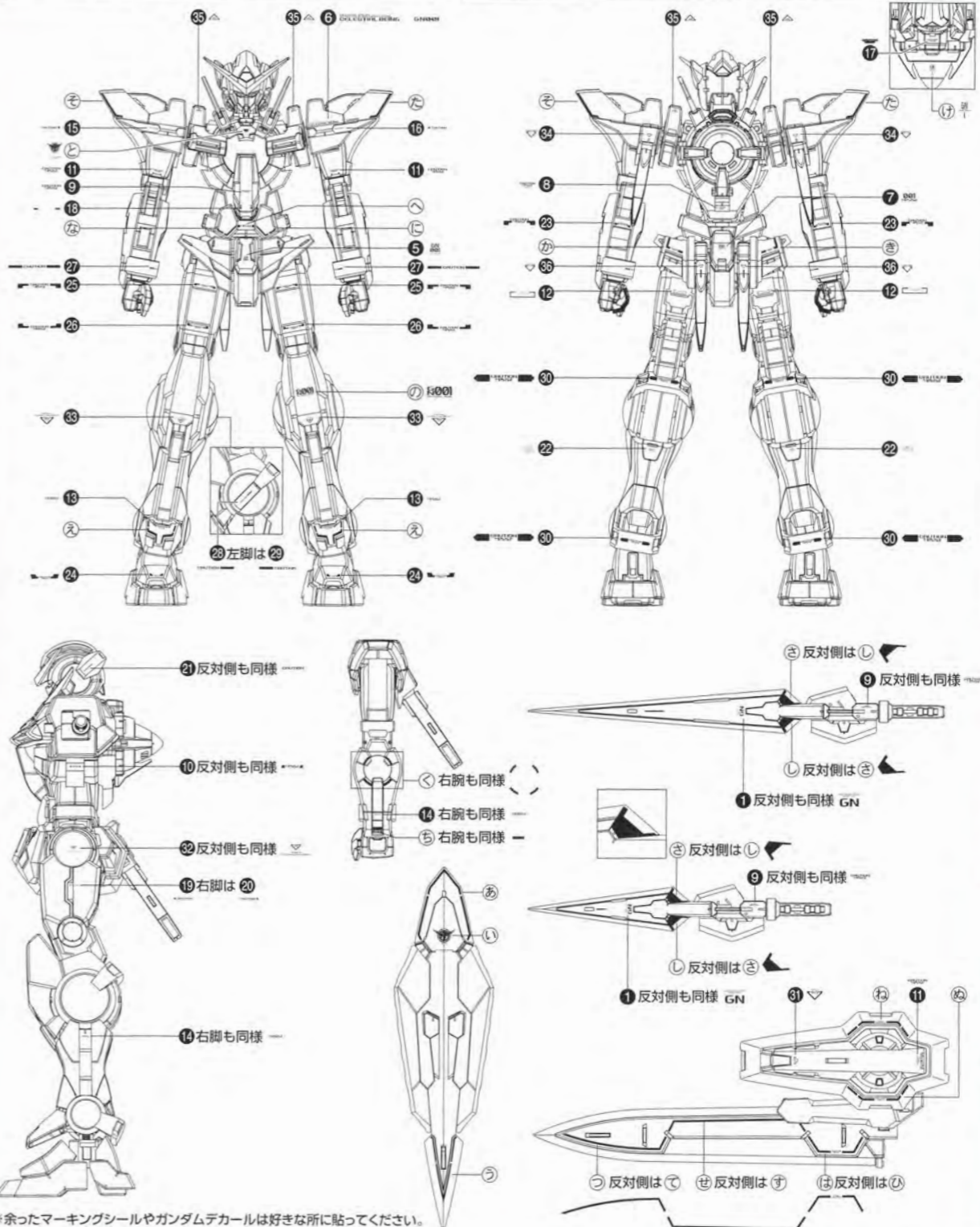
マーキングシールは「ひらがな」、ガンダムデカールは「数字」で表記してあります。

【例】㊸...マーキングシール ①...ガンダムデカール

【ガンダムデカールの貼りかた】※P3のガンダムデカールの貼り方を参考にあせらずゆっくり貼ってください。

1. 転写するマークを大きめに切り取ります。
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすり取ります。

このマーキングシール及びガンダムデカールはプラモデルオリジナルのもので、貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。



※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所に貼ってください。